

2. 地区の魅力の整理

(1) 上位計画等の整理

当地区のまちづくりの基本的な方向を検討するための基礎的な条件として、関連する上位計画やまちづくりガイドライン等について整理します。

上位計画等

《福岡市都市計画マスタープラン》(H13.05 策定)

都心核形成ゾーン(天神)

「天神地区」は、特に高度な商業・業務・文化・情報機能が集まる核として、また本市を代表する顔となる景観やオープンスペースを備えた交流と潤いのあるまちを目指します。

都心核形成ゾーン(博多駅)

「博多駅地区」は、西日本の中枢となる業務が集まる核として、商業機能や文化機能が充実し、回遊性が高く、景観にも優れ、快適に働ける福岡の顔となるまちを目指します。

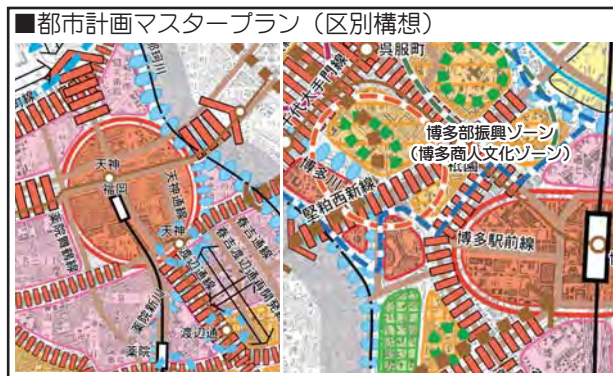
博多部振興ゾーン(博多商人文化ゾーン)

活気ある商業空間と歴史的環境が調和したまちを目指します。

《はかた駅前通り都市景観形成地区》(H23.07 指定)

博多駅地区と天神地区をつなぎ、博多のまちの新たなシンボルとなる魅力的な都市空間の形成を目的とします。

- ・美しさ、風格、賑わいの感じられる空間を形成
- ・緑やオープンスペースのネットワークを創出することにより、快適で潤いのある歩行者空間を形成
- ・多様な人が交流し、楽しさとぬくもりが感じられるアメニティ空間を創出



《新・福岡都心構想》(H18.06 策定)

「天神地区」と「博多駅地区」を結ぶ「中央回遊軸」は、新たな歩行者の回遊軸として、歩道空間の充実や沿道への商業施設等の誘導及び景観整備を進めます。



関連計画・事業等

《はかた駅前通りの取り組み》(H22～23年度)

○通りの将来イメージ

～駅に降り立った人が自然と足を運んでしまう、賑わいあふれる美しい都心回遊のなかみち～

○通り再生の具体的方策

- ・統一感のある舗装で街並みとの調和に配慮
- ・既存の木や花、バナー等によって楽しく賑やかな空間を創出
- ・天神エリアなどにスムーズに誘導するとともに、安心して魅力ある空間を創出
- ・分かりやすい案内の充実
- ・質の高い街並みの形成・活性化



■福博花しるべ (H23年度～)

- ・九州新幹線開業イベントとして開催。



《福博：都市シーニックバイウェイ研究会》

天神と博多を核とする都心部の魅力を高める具体策を語り合い、回遊性を高めるための拠点づくりや交通インフラの必要性などが検討されます。

平成23年3月には、地下鉄七隈線の延伸を見据えた「福博連携の回遊シティづくり」を提唱するシンポジウムが開催されました。



■まちづくり組織の活動状況

We Love 天神協議会（平成18年4月設立）


【天神まちづくりガイドラインの策定】（平成20年3月）

天神まちづくりガイドラインは、目指すまちづくりの決意と方向性を表した『**「天神」まちづくり憲章**』を拠り所とし、地区の関係者が共有できる「将来の目標像」とその実現を図るための「戦略」、及び具体的な活動である「施策」をまとめたものです。


「国道道路」の通りのイメージ

天神から博多駅へ繋がる「賑わいの都心活動軸」

西はけやき通りから舞鶴公園へ、東は中洲、キャナルシティを経て博多まで繋がり、昼夜問わず通行量が多い通りであり、沿道の多様な賑わいを楽しみながら快適に通行できる、ゆとりと潤いのある歩行者空間を形成します。




天神まちづくりガイドライン



おしやり啓発活動



打ち水



警固カフェ



まち歩き活動

博多まちづくり推進協議会（平成20年4月設立）

【博多まちづくりガイドラインの策定】（平成21年12月）

博多まちづくりガイドラインは、『**博多まちづくり宣言**』を踏まえつつ、対象区域内の関係者が共有できる「まちの将来像」とその実現に向け、みんなで協力し合って進めるべき「方針と方策」をテーマ別と主軸別にまとめたものです。

「はかた駅前通り」の主軸形成の方針

楽しさあふれる回遊主軸の形成

- ・博多のまちの新たなシンボルとなる景観づくり
- ・ゆとりと賑わいに富み、明るくさわやかな景観づくり
- ・歩行者の自由で便利な回遊を強化
- ・まち並みの連続性と歩行者の安全性を確保
- ・夜も心温まるまち並みの演出 など



博多まちづくり宣言

博多まちづくりガイドライン



はかたんウォーク(路上パフォーマンス)



はかた駅前通りの将来イメージ



どんたく広場



通り名称



防犯カメラの設置

中洲地区安全安心まちづくり協議会

We Love 天神協議会

博多まちづくり推進協議会

音楽イベント（博多りぼん）

花植え活動

中洲地区安全安心まちづくり協議会（平成18年11月設立）


中洲地区安全安心まちづくり協議会は、中洲地区再生に向けた取り組みを行うため、地域（地元）行政や警察、事業者によって設立され、4つのワーキンググループを設け、繁華街対策を推進しています。

《4つのワーキンググループ》

- ①安全・安心ワーキンググループ
- ②賑わいワーキンググループ
- ③クリーンワーキンググループ
- ④道路ワーキンググループ



秋の火災予防運動



歩行者天国



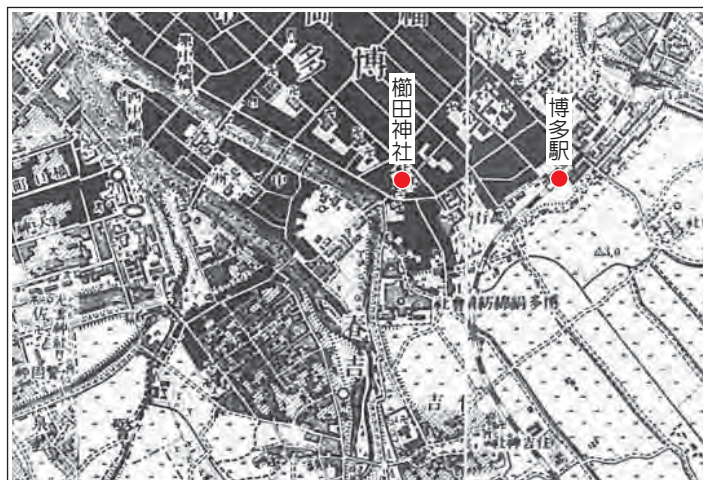
客待ちタクシークリーン作戦



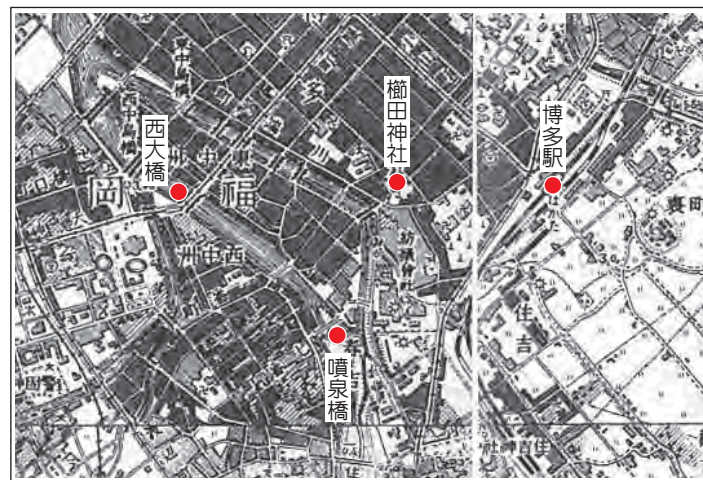
合同清掃活動

(2) 「検討地区」の魅力の整理

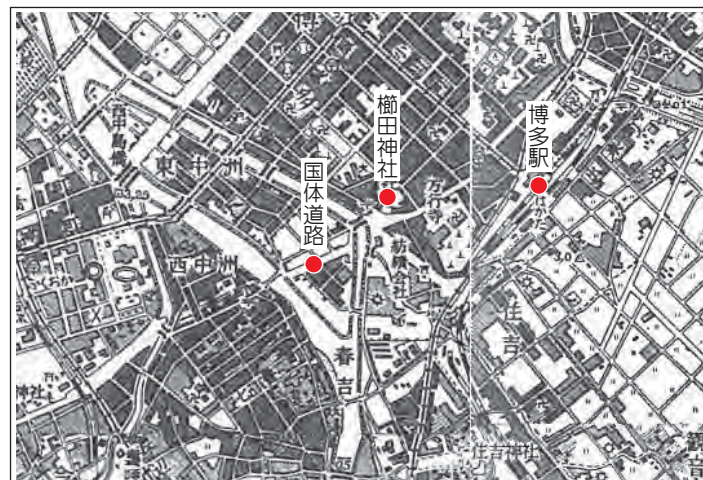
①市街地形成の歴史



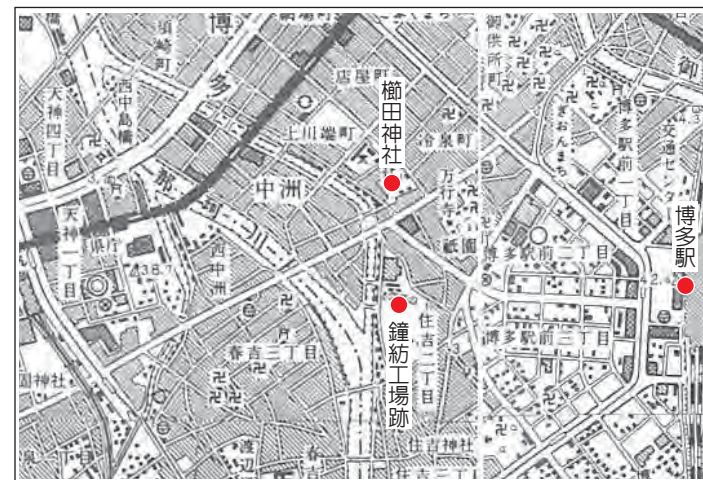
①明治33年



②大正15年



③昭和25年



④昭和44年

【市街地の変遷】

- 明治22年 (1889) 九州鉄道博多駅が開業。①
- 明治43年 (1910) 第13回九州沖縄八県連合共進会を期に西大橋が架けられた。② (福岡市初の市内電車もこの時に敷設)
- 昭和20年 (1945) 6月19日の福岡大空襲で殆どが壊滅。
- 昭和22年 (1947) 戦災復興土地区画整理事業着手。(昭和47年事業完了)
- 昭和23年 (1948) 第3回国民体育大会に併せて国体道路 (国道202号) が整備。③
- 昭和33年 (1958) 博多駅地区土地区画整理事業着手。(昭和48年事業完了) 土地区画整理事業ではかた駅前通りが整備。④
- 昭和57年 (1982) 市営地下鉄空港線 (天神～中洲川端) が開業 ※地下鉄工事と明治通りの西大橋の整備を行う。⑤
- 昭和60年 (1985) 市営地下鉄空港線 (中洲川端～博多) 開業。
- 平成17年 (2005) 市営地下鉄七隈線 (橋本～天神南) 開業。

- 博多駅
 - ・ 明治22年 (1889) 出来町公園付近に博多駅が開業
 - ・ 明治42年 (1909) 二代目駅舎が完成。
 - ・ 昭和38年 (1963) 土地区画整理事業・鉄道高架に併せて三代目駅舎が完成。
 - ・ 平成23年 (2011) 九州新幹線の開業に併せて、JR博多シティが完成。
- キャナルシティ博多
 - ・ 昭和36年 (1961) カネボウ工場跡地にカネボウスポーツセンターが開業。⑥
 - ・ 平成8年 (1996) スポーツセンター跡地にキャナルシティ博多が開業。
 - ・ 平成23年 (2011) キャナルシティ博多イーストビル開業。
- 清流公園
 - ・ 大正14年 (1925) 東中洲の最南端に「清流橋」を架橋。
 - ・ 大正15年 (1926) 中洲南端に博多噴泉浴場 (ス・パ・銭湯) があり、対岸の春吉方面へ噴泉橋という橋が架かっていた。(福岡大空襲で焼失)
 - ・ 平成13年 (2001) 清流公園とキャナルを結ぶ歩道橋として「夢回廊橋」が新設。
 - ・ 明治時代に向島遊園地の開園記念 (現在の住吉から中洲にかけて作られた) に住吉神社に寄進した「高燈籠」が昭和29年に公園南端に移築。⑦



地下鉄七隈線



二代目博多駅



⑥カネボウスポーツセンター (S45 プール、スケート場、ゴルフ練習場)



⑦清流公園 (寄進高燈籠)



⑤地下鉄工事と西大橋の整備



⑤整備後の西大橋

地下鉄七隈線沿線 まちづくりガイドライン 2. 地区の魅力の整理

②主要施設の分布

①中洲中央通り（中洲ジャズフェスタ）



②博多座



③冷泉公園



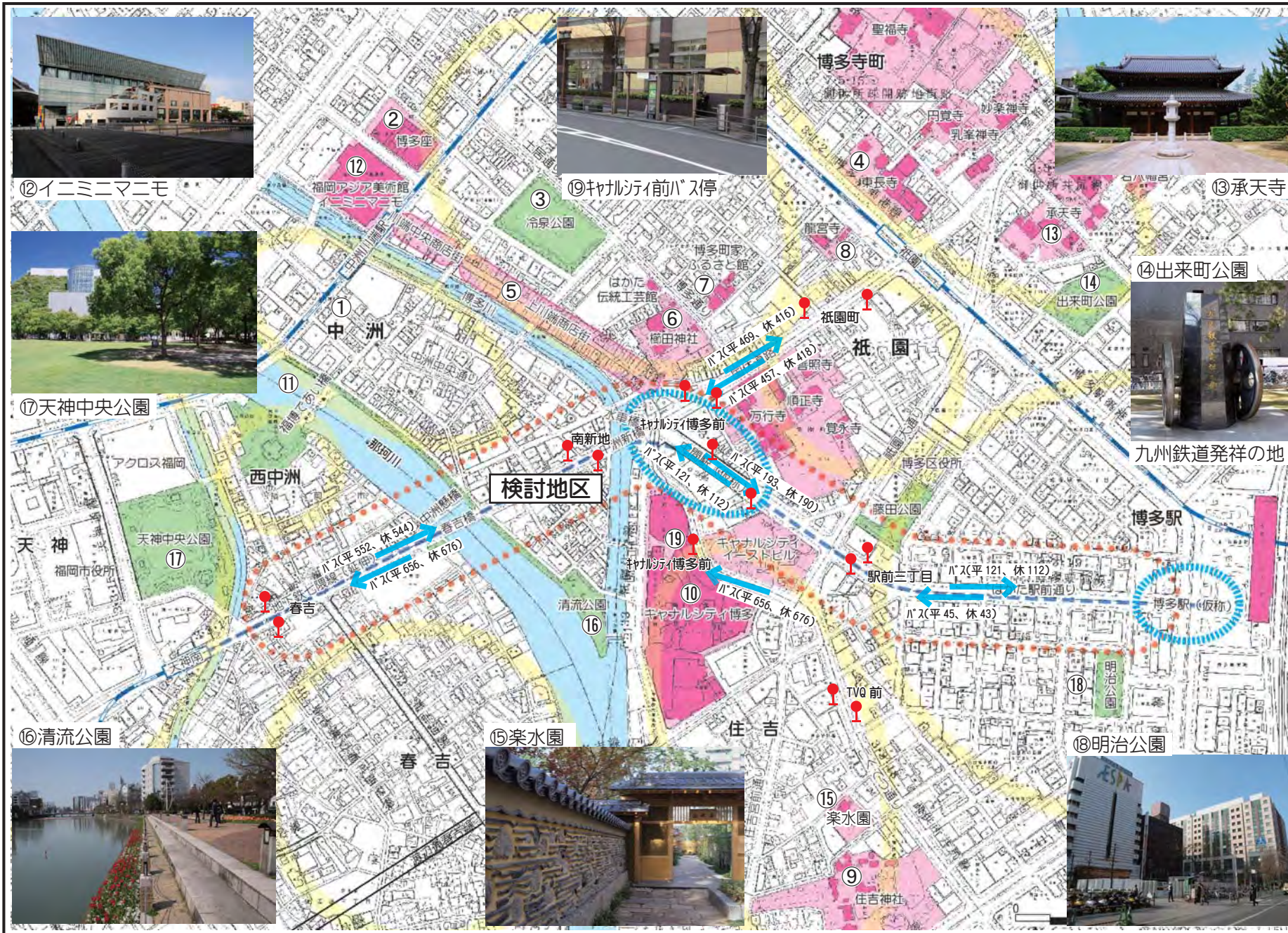
④東長寺



⑤川端商店街



①中洲（那珂川河畔）



⑥櫛田神社



⑩キャナルシティ博多



⑦博多町家ふるさと館



⑨住吉神社



⑧龍宮寺



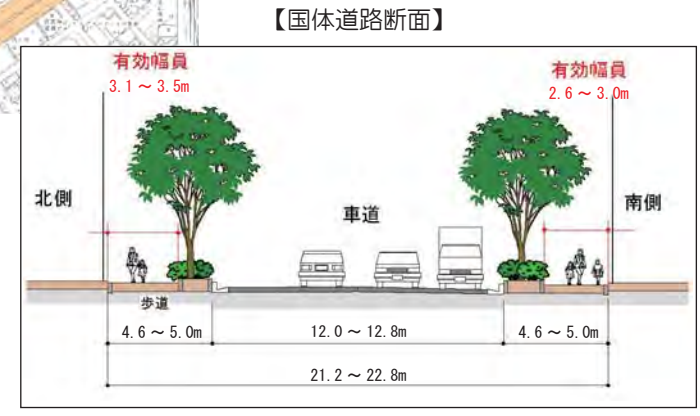
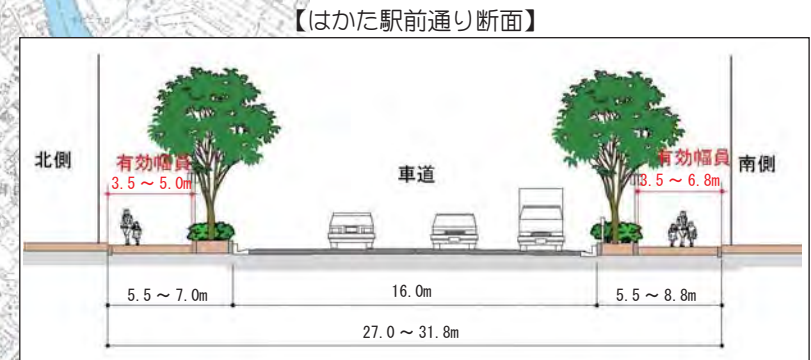
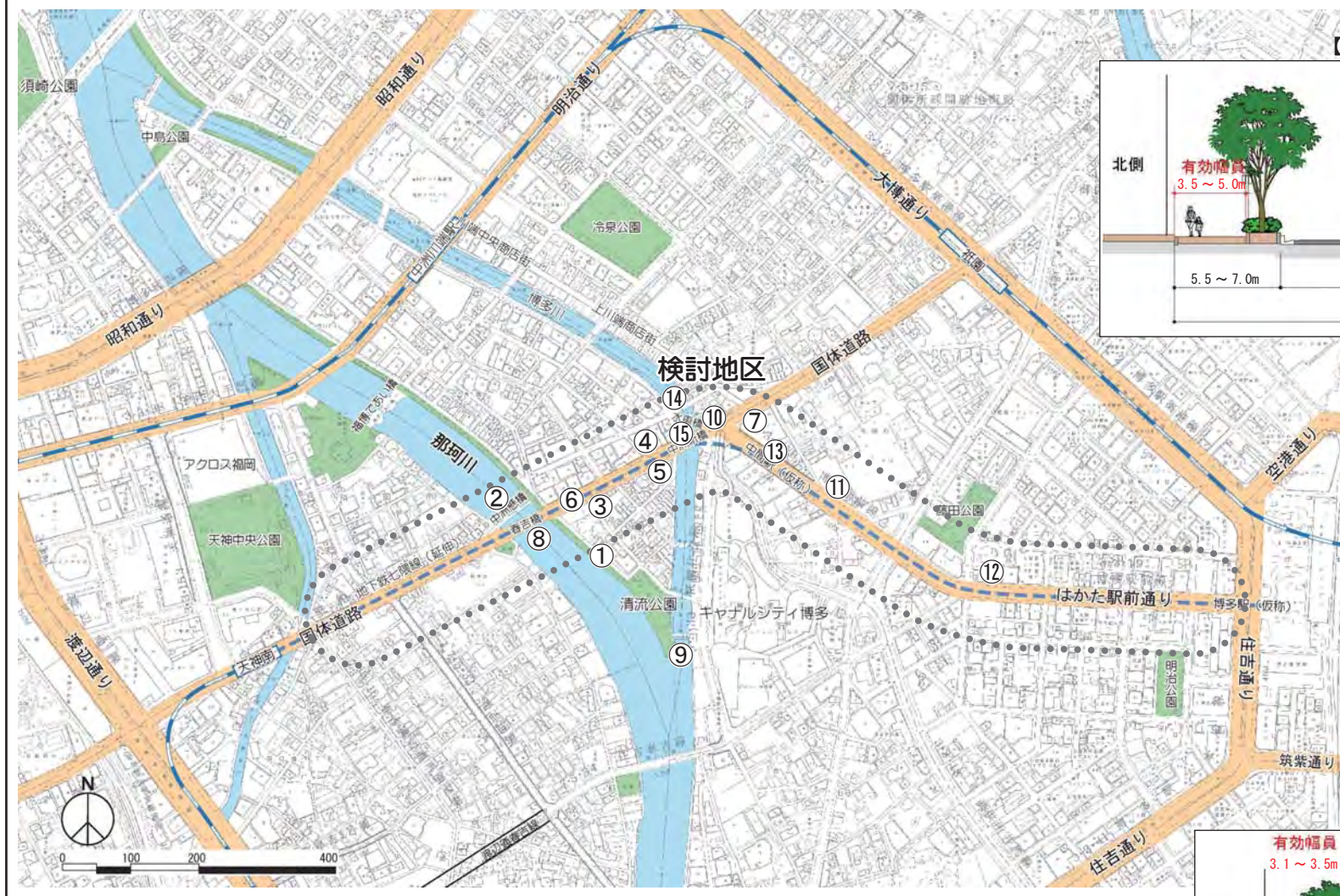
③歩行者空間の状況

【道路幅員】

- はかた駅前通りは、計画幅員が27mで整備されており、歩道幅員が5.5～7.0m(有効幅員3.5～5.0m)あります。
- イーストビル横の歩道は、土地区画整理事業により、歩道が拡幅され8.8m(有効幅員6.8m)あります。
- 国体道路は、計画幅員が22mで整備が完了しており、歩道幅員が4.6～5.0m(有効幅員2.6～3.5m)あります。
- 国体道路とはかた駅前通りには、歩道に自転車誘導部(カラー舗装など)が整備されています。

【バリアフリー】

- 国体道路、はかた駅前通りともに誘導ブロックが設置され、歩道と車道の段差解消も行われています。
- 国体道路や中間駅周辺に放置自転車が多くみられます。



④通りの街並み景観等の状況

【はかた駅前通り】

- 歩道空間は、ストリートファニチャー（街灯や案内表示、舗装など）のデザインが統一されています。
- また、平成22年度から「福博花しるべ」により、歩道空間に色とりどりの花が植えられ、花しるべのバナーなどが設置されています。
- 歩道上には市民や観光客に分かりやすい案内サインを社会実験で設置しています。
- 平成23年7月に新たなシンボルとなる魅力的な都市空間の形成を目指して「都市景観形成地区」が指定されました。

【国体道路】

- 夜になると歓楽街としての賑やかな景観を創り出しています。

①はかた駅前通りの植栽



②はかた駅前通りのバナーと街灯



③飲食店等が入るビル



④イーストビル



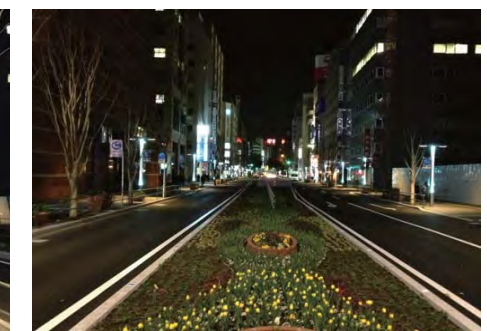
④イーストビル（広場）



⑤清流公園（案内サインと花）



⑥夜のはかた駅前通り



⑥夜のはかた駅前通り（歩道）



⑬はかた駅前通り



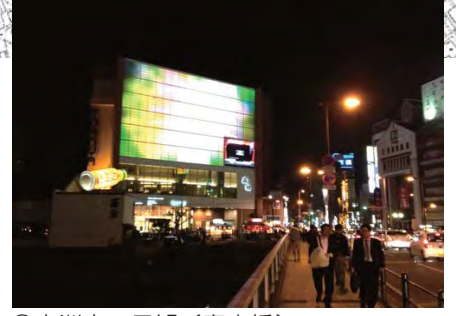
⑭国体道路



⑨国体道路



⑨国体道路



⑩中洲夜の景観（春吉橋）



⑩中洲夜の景観（屋台）



⑫はかた駅前通り



⑦祇園町西交差点